

令和7年度 サービス評価
事業所自己評価

小規模多機能型居宅介護事業所 ほほえみ

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原
布下 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7	9	0	0	16

前回の改善計画

当日の職員とは、生活面や医療面の申し送りを通じて必要な情報が共有できています。しかし、夜勤者やヘルパーなど細かな部分の情報共有については、各職員が個人カルテや連絡ノートを必ず確認し、記録を「見ても分からない」場合には、そのままにせず、自分から理解している職員に聞きに行きます。知りたいことは自ら発信し、目で見て、耳で聴いて、各自が取り込みやすい方法で確実に情報を得る姿勢を大切にします。

前回の改善計画に対する取組み結果

朝の申し送りや、申し送りノートを通じて利用者の情報共有を行うことができました。それでもわからないときは他職員に聞く等して情報獲得を行いました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	9	0	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	3	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7	9	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	10	1	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① ミーティングに参加し情報共有できている。不明な点は聞き返している。事前情報に目を通し、不明な点は聞く。わからない部分は上司やCM、NSにきく。職員間で話あっている。

② ケアプランを基に支援している。

③ 声掛けに注意している。相手の性格を見極めながら話す。孤独感を持たないように横に座る時間をとる。新規利用者は気を付けて声掛けしている。

④ 送迎時に家族と話すようにしている。できる範囲でお話を聞くようにしている。家族の不安は職員間で共有し、返すようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

④ 本人に聞くもわからないときがある。家族とのコミュニケーションが足りていない。独居のご利用者の家族と会話をする機会がない。

② 必要としている支援内容を把握できていない。個々の必要としている支援が全員把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ご利用者家族とのコミュニケーションが不足しているので、送迎時に家族と会話する機会を持つ。また、ご利用者個々の支援内容を把握するため、計画書を読む時間を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原布下
8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	12	2	0	16

前回の改善計画
<p>ケアプランや個別援助計画を作成する際には、まず本人のゴールを明確にし、その目標に向かって進むためのサービスであることを前提として計画を立てます。また、新たな情報や重要な情報がある場合は、記録の際に色を変えたりマーカーで強調したりするなど、誰が見ても分かりやすい工夫を行い、適切なサービスへつなげていきます。さらに、ミーティングに参加できない場合には、事前に意見を提出しておき、情報共有を確実に行うようにします。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>新たな情報がある場合は、マーカーで色をつけて誰が見てもわかりやすいように工夫しました。また、ミーティングに参加できないときは計画の評価票を活用し、事前に意見を提出しました。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	10	3	1	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8	5	1	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	10	5	1	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	9	4	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②本人のしたいことを知り、役割を作っている。個別援助計画は目を通してている。ミーティングに参加することが少ないが、書類には目を通し情報の共有に努めている。 ケアプランでご利用者のしたいことを把握している。 日々の会話の中で本人の目標を聞き取っている。プランを作る時は本人と一緒に目標をたてる。 ④発言しやすい環境とと思っている。職員間で考え出た案を支援に繋げている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所内が毎日忙しく、ゆっくり関わっていない。外出する機会は減り、ご利用者の楽しみが減っている。ご利用者のケアプラン、個別援助計画の把握が不十分。本人の目標に沿った関りができているのか不安がある。関りを人に委ねることが多い。計画以外のサービスを提供してしまうことがあるので、ご利用者と一緒に行くことが必要。認知症があるからしたいことがないと考えてしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々の業務が多く、ご利用者のしたいことができていないので、記録の簡素化等業務改善を行いご利用者と関わる時間を確保できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原布下
8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	9	1	0	16

前回の改善計画	職員一人が一つの情報を持っていれば、全員で持ち寄ることで必ず情報が増えていくという意識を大切にします。自分だけが知っている状態にせず、記録や連絡ノートには分かりやすい色を変えて記入し、さらに他の職員にも言葉で伝えるようにします。また、すでに知っている情報であっても、意見を受け入れる姿勢を示し、共有しやすい雰囲気をつくります。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々の朝礼や業務内で職員の情報を共有する機会を設けました。また、周知の情報も繰り返し伝えることで、職員の情報への意識を高めました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	9	6	1	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	12	0	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	12	3	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	9	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	11	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 記録や連絡ノートを読み、ご利用者の体調の変化や食事・入浴・排泄などの情報を共有できている。毎日の体調の変化は気にして確認している。会話の中からご利用者の変化を察するようにしている。ご利用者の異常を感じたときは他職員と共有している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「以前の暮らし方」が10個以上把握できていないご利用者いる。訪問に行くことがないので、自宅での生活が不明な点が多い。現在の生活状況の把握のみで以前の暮らし方を把握することが困難。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご利用者の「以前の暮らし方」を10個以上把握するため、ご利用者や家族と昔の話をする機会を設ける。また、会話の中で得た情報は申し送りノートに記入する等、職員間で共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原布下
8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	9	3	0	16

前回の改善計画

自分自身も地域資源の一つであるという意識を持つことが大切です。民生委員の方については、地元の方は把握しやすいものの、他地域については分かりにくいいため、職員がよく利用する場所に各地区の担当民生委員一覧を設置し、いつでも確認できるようにしました。また、利用者宅周辺では必ず挨拶を行い、近隣の方とも自然に関わりを持てるよう心がけます。

前回の改善計画に対する取組み結果

独居のご利用者に関して、民生委員と情報交換を行いました。またご利用者宅周辺で近隣の方とお会いした際には必ず挨拶を行いました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	6	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	13	2	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	10	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	10	5	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

②訪問した際や電話で報告し、傾聴している。民生委員一覧をみると知人が多いので意見交換する機会がある。地域行事に合わせてサービス調整にし、通いの時間を使って参加できるようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人から聞き取れない情報を、家族などから聞く技術が乏しい。表面的な部分しか理解できていない。夜勤で多く出勤しているので、送迎などのご利用者家族との関係性の構築が難しい。独居で認知症利用者は短期記憶がないので自宅ですごしているかを聞いてもわからないことが多い。自宅から出かけられると連絡がつかないことがある。民生委員が自分の地区しかわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

ご利用者のご家族だけではなく、近隣の方とも会話する機会を持ち、ご利用者の自宅での様子を把握する。把握した情報は送迎や訪問にでない職員と共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原
布下 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	4	0	16

前回の改善計画
独居の方や高齢者夫婦のみで暮らしている利用者については、近隣で気にかけてくれる方や協力してくれる方を把握しておき、必要に応じて地域とのつながりを確保します。また、近隣の方々へ挨拶を行い、日頃から関係づくりを進めていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果
独居・高齢者夫婦のみで暮らしているご利用者については、近隣の方と情報交換を行いました。また、挨拶も欠かさず行い、関係作りを行いました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	12	4	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	11	1	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	13	1	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	15	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	日々の関りや記録、本人に変化があったときは職員間で情報共有した。必要な方には配食弁当や買い物支援をしている。場合によっては通所を増やしている。利用者に合わせた対応を心がけている。通所に空きができたときは独居利用者に通所を利用してもらっている。ご利用者の状況に応じて、通い・訪問・宿泊を柔軟に提供している。

できていない点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	地域資源がわからないし、関りが少ない。サービス追加や減少の理由が職員間で共有できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	サービスの追加や減少があった場合は、その理由を職員間で共有し、統一したサービス提供を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原
布下 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	2	10	3	1	16

前回の改善計画
担当者会議の開催前に、利用者の担当職員が欠席する場合は、事前に意見を提出しておきます。保育園の園児が訪問できる機会については、交流の場を再び設けます。また、イベント開催の予定がある際には、地域食堂など地域住民が集まる場で積極的に情報発信を行います。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当者会議には担当職員から事前に意見を提出してもらいました。また、敬老の日に合わせて保育園児に来所してもらい、ご利用者と交流していただきました。イベント開催時はチラシを作成し、配布しました。

◆今回の自己評価の状況趣旨

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	2	4	7	16
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	2	12	16
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3	7	1	5	16
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	7	2	5	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	地域ケア会議には積極的に参加している。地域の文化祭にご利用者と一緒に参加できた。敬老の日では保育園児やボランティアに来て頂き交流してもらった。訪問看護とのやり取りを行っている。消防訓練に地域の方に参加してもらった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域ケア会議に参加する機会がない。担当者会議に出席することができなかった。面会やイベントで地域の方が来所されるが、日常的には交流できていない。主に夜勤に従事しているので、結果を書類や職員からの口頭でしか把握できない。イベント開催時の職員間情報共有ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	担当者会議にはケアマネだけでなく、担当職員も参加できるように勤務調整を行います。また、事業所イベント開催時の情報共有が不十分なので、事前の周知を徹底します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

7. 運営

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原
布下 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	1	12	3	0	16

前回の改善計画	意見があるときには、聞く側もきちんと耳を傾ける姿勢を持ち、発言しやすい雰囲気を職場内でつくっていきます。こうした姿勢を「ほほえみ」の共有ルールとして定着させます。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員間の発言しやすい雰囲気を作るため、職員の聴く姿勢を養いました。ほほえみの共有ルールにするまでには至りませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	10	5	0	16
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	16	0	0	16
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	13	3	0	16
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	8	5	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 関係者から意見を聞いて、職員として意見を発している。地域食堂への参加や作品展への出展を行った。利用者からの意見や苦情があった場合は朝礼で周知している。事業所雰囲気が悪くならないよう発言には注意している。積極手に伝えるべきことは伝えている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 苦情かどうかの調査が不十分ではないか。意見を言っても通らないことがあるので、意見を聞いてもらえる雰囲気作りは引き続き継続していく必要がある。地域の方に気軽に事業所を訪れてもらう機会を作れていない。職場の雰囲気を悪くしたくないので、疑問や不満をため込むことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 引き続き発言しやすい職場を目指し、職員の聴く姿勢を養う取組みを行います。また、ご利用者や家族から意見や苦情があった場合は内容をよく精査し、職員に周知します。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原
下 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	1	9	5	1	16

前回の改善計画	毎月の個人研修カリキュラムについては、職員同士が声を掛け合いながら進捗状況を確認していきます。また、毎月開催される民生委員の会の終了時には挨拶に伺い、情報交換を行います。
前回の改善計画に対する取組み結果	民生委員の集まりには参加できませんでした。個人研修はeラーニングで計画をたて、職員に周知しましたが、職員間での声掛けは不十分でした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	11	2	0	16
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	4	2	16
③ 地域連絡会に参加していますか	2	0	2	12	16
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	13	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティング時の研修に参加し、自己研鑽を行った。リスクの予測を行い、支援を行っている。新たな資格取得に向けて準備をしている。リスクマネジメントでは職員の特性に着目した取組をしている。リスク回避のため、ホール全体を見渡せる位置にいるように心がけている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域連絡会に参加できておらず、特定の民生委員としか関わっていない。資格取得などスキルアップができていない。研修に行った職員からは内容を情報共有することがスキルアップにつながると思うができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員間でスキルアップするために、研修に参加した職員はミーティング等で内容や学びを報告します。また、資格取得に関しての情報を職員に周知し、新たな資格取得を促します。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月 26日 (17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 岩永・朝倉・津村・米澤・守井・谷本・安原
布下 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	6	6	4	0	16

前回の改善計画
カルテを収納している移動ワゴンは、来客があるときには内容が見えないよう必ず裏向きにしておきます。また、利用者対応で席を離れる際には、カルテを必ず閉じて情報が見えない状態にしてから移動します。
前回の改善計画に対する取組み結果
カルテの収納時は裏向きとし、来客時に内容が見えないようにしました。各ご利用者の記録も個人情報であるという意識を持ち、移動の際は必ず閉じるようにしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	13	3	0	0	16
② 虐待は行われていない	14	2	0	0	16
③ プライバシーが守られている	8	5	3	0	16
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	3	10	16
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	4	10	2	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束ゼロを継続している。虐待も行われていない。カルテの取り扱いには最新の注意を払っている。来客時は個人情報の取り扱いに注意している。スピーチロックを行わないように、発言に注意している。ご利用者の情報共有時は他者に聞こえないよう配慮している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	成年後見制度が誰に必要なのかわからない。プライバシー保護では、入浴・トイレ時にカーテンや扉が少し開いてしまうことがある。稀にカルテが机に置いたままのときがあるので、注意すべき。トイレ時にパットやパンツが見えるように持つて行くことがあるので、見えないように配慮したい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	成年後見制度についての理解が乏しいため、研修等を通して理解を深めます。また、プライバシー保護ではカーテンや扉の開閉に注意し、排せつ用品の取り扱いも他者の目に触れないようにします。